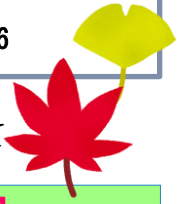


空は深く澄み渡り、さわやかな季節となりました。秋と言えば、“○○の秋”と言われるように、日々の生活のさまざまなことに挑戦しやすい季節でもあります。教育センターで「研修の秋」にしてみたいかがでしょうか。



センターWeb ページのご紹介②「資料・様式」



「資料・様式」をクリックすると、「仙台版防災教育副読本」、「わたしたちのまち仙台」などの副読本や、「仙台市教育センター使用申請書」「ICT 機器貸出」などの様子を掲載しています。ぜひ御活用ください。

ちょっと一息【道徳コーナー】

考え、議論する道徳②

Q:「考え、議論する道徳」の“議論する”とは、どういうこと?

A:“議論する”とは多様な考え方、感じ方と出会い交流することを目的とします。その中で、多面的・多角的な見方へと発展する場とします。議論というと、論破することを目的としがちですが、論破することや一つの考え方に収束させる必要はありません。そういった意味では、議論というよりは、話し合うという言葉の方が合っているのかもしれない。

書いたことを読み上げるだけのよう
な、単なる意見の発表会とならない
ようにすることが大切です。

すぐに、自分の考えが出てこなくて
もかまいません。話し合いを通して、
多様な考え方と出会う中で、自分の考
え方や、感じ方を明確にしていくこと
が大切です。



新学習指導要領に向けて②

算数科

算数科の改訂の要点の一つに、**数学的活動の充実**があげられます。

数学的活動とは、「**事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行すること**」です。数学的活動の充実が、主体的・対話的で深い学びの実現につながります。児童や学校の実態に応じ、多様な学習活動を組み合わせ、授業を組み立てていくことが重要です。

332

これは、**小学校学習指導要領解説算数編のページ数**です。他の教科よりもページ数が多い分、学年ごとに授業例が詳しく書かれています。ぜひ一度御覧ください。



教師力を高める土曜講座

★11月25日(土) 14:00~16:00
夢と感動を支える者として
～国際舞台における人間力～

講師：2010・2014

FIFA ワールドカップレフェリー
西村 雄一氏



「世界で認められたレフェリー西村雄一氏。2004年に国際審判員に登録され、(公財)日本サッカー協会プロフェッショナルレフェリーとして活躍されています。FIFAワールドカップでは、2010年南アフリカ大会の準々決勝の主審と決勝の第4審判員、そして、2014年ブラジル大会では開幕戦の主審と3位決定戦の第4審判員を務めるなど、世界で賞賛された審判員の一人です。グローバル化が進展する社会の中で夢に向かって生きていく子供たちをどのように後押ししていけばよいのかを、直接教えていただきます。

講座の**1週間前まで**、**FAX**や**巡回メール**で申し込みをしてください。

教育センターHP **研修** → **土曜講座** → **申込**

【教育センターはOJTで学び続ける^{あなた}教職員を応援します！】